アッラーの書から一文字でも読んだ者には、一つの善行がある。そしてその善行は、１０倍となる。

イブン・マスウード（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言った：「アッラーの書（クルアーン）から一文字でも読んだ者には、一つの善行がある。そしてその善行は、１０倍となる。『アリフ・ラーム・ミーム』が一文字だとは、言わない。しかし『アリフ』が一文字、『ラーム』が一文字、『ミーム』が一文字なのだ。」
[真正] [アッ＝ティルミズィーの伝承]

イブン・マスウード（彼にアッラーのご満悦あれ）が、このハディースの中でアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）から伝えるところによれば、アッラーの書（クルアーン）から一文字でも読んだ者には一つの善行があり、そしてその善行は１０倍となる。『アリフ・ラーム・ミーム』（クルアーンのいくつかの章の冒頭に出現する節）は３つのアラビア文字から構成されているが、それら全部で一文字なのではない。しかし『アリフ』が一文字、『ラーム』が一文字、『ミーム』が一文字なのであり、つまりそれらを読んだ者は３０の善行によって褒美を受けることになる。これは偉大な恩恵であり、豊かな褒美である。ゆえにアッラーの書を多く読誦すべきである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/6275